



岩手県水泳連盟だより

令和元年度
第4号
2020.3.24
発行/県水泳連盟
TEL019-681-7155
FAX019-681-7156
編集/広報委員会
責任者 村川朋子

ごあいさつ

岩手県水泳連盟会長 西川 勝夫

二〇一九年の年は、県水連の土台を作る上で大事な年となりました。

ひとつは、組織の質を変ええる試み法人化です。これによって視点が、選手養成、水泳の普及の一層の進化発展のために何が大切なことかを見直す事ができました。県水連の組織の最も苦手としていることにも手が入ろうとしています(財務委員会の誕生と行動化)、選手の願いをかなえる強化のための方策の具現化(強化合宿でのコーチの協調)など動きはじめています。

私たちがめざしているのは、県水連のはじまりとされる大正十五年七月十五日の楽しい水遊びでおぼれる子供を救おうというための「プール」を作り、泳げる子供をたくさん作る事です。九十数年を通し、競泳では水沢の松戸思奈さん、シンクロでは高橋馨さんがオリンピック出場し、新たにパリオリンピック出場する選手をめざしがんば

っています。このことを実現すべく、地道に子供たちを育て水泳を生涯スポーツの良いスポーツとして、家庭力、学校力と共にスポーツ水泳力を幼児からお年寄まで楽しくできる環境を作っていくための尽力を皆で支えあって作っていきましょう。

岩手から世界へ

桑添 陸

(新潟医療福祉大学3年)
盛岡南高・花巻SF出身

- ▽スイムマラソンワールドシリーズ 第一戦ドーハ大会(10キロ)
- 日本人第2位 総合48位
- ▽第九回OWSアジア選手権



- 第5位(10キロ)
- 第9位(5キロ)
- ▽OWSオーシャンカップ2019
- 第4位(10キロ)
- ▽国民体育大会
- 第7位(5キロ)
- ▽日本選手権
- 第6位(10キロ)
- OWS競技

第十八回2019光州FINA世界マスターズ水泳選手権大会



- 50m背泳ぎ 第6位
 - 100m背泳ぎ 第8位
 - 200m個人メドレー 第8位
- 小原芽衣子 (内海遊泳会)

2019イーハトーブマスターズ水泳盛岡大会

- 25m平泳ぎ100mグループ 優勝 日本新 15秒03
- 三上華海 (ノスタルG、盛岡大学)



工藤 栄三

- ▽第三十二回ねりんピック2019 50mグループ
- 25m平泳ぎ 優勝 19秒96
- 50m平泳ぎ 第4位 39秒53
- ▽日本スポーツマスターズ2019 25m平泳ぎ 第3位

新山 将司 (セントラル盛岡)

- ▽第36回日本マスターズ水泳選手権大会 800m自由形 優勝

村田 奈々 (イーハトーブSC)

- ▽天皇陛下即位記念2019 ジャパンパラ水泳競技大会 50m自由形 第2位

日本水泳連盟 有功賞

宮野光政 事務局長が受賞

水泳の発展、普及に尽力された功績が認められ、日本水泳連盟より表彰されました。おめでとうございます。



中体連強化事業報告

委員長 加藤 泰
副委員長 一ノ倉真吾

■塩浦選手招聘講習

期日 十月十二日(土)
場所 盛岡市立総合プール
参加者 指導者3名、生徒44名
県水連競泳委員会ジュニア指導担当者と連携し、事業は成功裏に終わることができた。参加した選手は塩浦選手が実際に行っているドライランドやドリルなどを真剣に学び、有意義な時間を過ごした。



■2月選抜合宿

期日 二月八日(日)～九日(月)
場所 岩手県宮内温水プール

参加者 指導者6名、生徒24名
競泳委員会に所属しているスイミングスクールのコーチの方々に手厚くご指導いただき、充実した練習ができた。



高体連事業報告

委員長 武田 孝紀
副委員長 佐々木靖史

■事業報告

▽第71回岩手県高等学校総合体育大会
期日 令和元年六月二十一日～二十三日
場所 盛岡市立総合プール
参加人員 約300名
▽インターハイ前強化事業
期日 令和元年八月七日～九日
場所 盛岡市立総合プール
参加人員 10名
▽第57回岩手県高等学校新人水泳競技大会
期日 令和元年九月二十日～二十一日
場所 岩手県宮内温水プール

参加人員 約200名

▽岩手県高体連水泳専門部第1回常任・強化委員会会議

期日 令和元年五月七日

場所 盛岡市立総合プール

参加人員 約15名

▽岩手県高体連水泳専門部第2回常任・強化委員会会議

期日 令和二年二月上旬

場所 盛岡市立総合プール

参加人員 約15名

▽成果・反省

インターハイ出場者が今年度は男子6名女子9名(昨年度男子5名女子5名)と増加したことはよかった。ただし、東北大会では標準記録突破者が男子3名女子5名と少なかったため種目のレベルの格差に救われた面もあった。インターハイでの自己ベスト率は低く8位入賞者はゼロだった。今後競泳委員会と継続して強化事業を行い、解決策を考えていきたい。また、大会参加者が減少しているため、各校の顧問と連携を取りながら水泳部の存続をアピールしたい。

第4回理事会報告

期日 十二月八日(日)
場所 盛岡市立総合プール 会議室
*理事15名出席、委任8名

■議事

(1)2020年度大会要項ならびに日程について

①予定表について変更・追加等の確認がなされた。

②各大会要項について(競技委員より)

・春季長水路記録会は、オープン参加・県外選手の参加を認める。

・県選手権は、大学生、ふるさと選手について明記した。エントリータイムはすべて短水路での記入とした。

・JO予選は本戦にない種目をカット。チャレンジレースの参加料を各千円減額した。

・夏季長水路は次年度は開催しない。
・見学童は、オープン、幼児の参加を認めない。
・冬季県選、JO春季予選、春季学童は霰石開催となる。

③釜石OWS大会について(OWS委員会より)
・8月2日を予定。説明会の時間を16時からに変更。80歳以上のクラスを追加した。

(2)岩手県記録規定について
・法人化を受けて規定の明文化を進め、各所属団体へ周知を図る。

(3)日本マスターズOWS岩手開催について
・開催承諾書の提出を承認。
・8月末で2日間の開催を予定。約千名が参加。種目は50mと100m。

(4)2020前期大会収支報告について
・今年度より参加料と役員日当を値上げ。過去2年と比較すると80万弱の増額。夏季長水路記録会では赤字決算となった。

(5)東北連合理事会・地域会議報告
(小田島理事長)

・東北理事会では主に記録とブロック合宿について話し合われた。

・地域会議では来年度の日程、国体標準記録の引き上げの報告があった。オリンピックの各地方水連への割当席はなし。ただし、日本選手権では用意することのこと。